

付与・付加を表わす機能動詞の日中対照研究

朱 薇娜

1. はじめに

日本語には「影響する」を「影響を与える」と言い換えられるように、単一の動詞で表わしうる意味を「名詞＋格助詞＋動詞」で言い表す現象がある。同様に中国語にも、“支持”(支持する)を“给予支持”(支持を与える)と言い換えられるように、単一の動詞で表わしうる意味を「動詞＋名詞」で言い表す表現がある。このような「V」→「N＋V」/“V＋N”という現象は、Vの意味が希薄化していることから、「機能動詞」(日本語)、“形式动词”(中国語)と呼ばれている¹。本稿では、これらの動詞を統一的に「機能動詞」と呼ぶことにする。

村木(1991:203)では、機能動詞は「実質的な意味を名詞にあずけて、みずからはもっぱら文法的機能をはたす動詞」と定義されており、「する」を典型的な機能動詞と見なすほか、「誘いを受ける」の「受ける」のようなヴォイス的な意味、「実施にうつす」の「うつす」のようなアスペク的な意味、「譲歩を示す」の「示す」のようなムード的な意味を特徴づける動詞をも幅広く機能動詞のカテゴリーに入れている。一方、中国語の場合、朱徳熙(1985)では“加以(加える)、给予(与える)、给以(与える)、予以(与える)、进行(進行する)、作(する)”の6つ、尹世超(1980)ではこの6つのほかに“受到(受ける)、遭到(こうむる)、从事(従事する)、致力(力を尽くす)、引起(引き起こす)、促进(促進する)、得到(得る)、寄予(寄せる)、禁受(耐える)”等の24語が挙げられている。

本稿では、日本語の機能動詞「与える」、「加える」と中国語の機能動詞“给予²”、“加以”を取り上げ、これらと結びつく名詞(N)の違いについて分析する。

¹ 同様の現象は、英語やドイツ語にも見られ、‘light verb’(英語)、“funktionsverben”(ドイツ語)などと呼ばれている。

² 同類には“给以”、“予以”もあるが、本稿では、対照の便宜上、“给予”だけを考察対象にする。

この4つの機能動詞は例(1)、(2)のように、何かを付与したり、付加したりする点で共通している。

(1)a. 彼女は説明を与える。

b. 她给予说明。

(2)a. 彼女は説明を加える。

b. 她加以说明。

しかし、同じ付与を表わす表現でも、例(3a、b)のように日本語の「与える」は対格(ヲ格)に「誤解」をとることができるのに対し、中国語の“给予”は対格に“误解”(誤解)をとることができない。また、同じ付加を表わす表現でも、例(4a、b)のように日本語の「加える」は対格に「暴行」をとることができるのに対し、中国語の“加以”は対格に“暴行”(暴行)をとることができない。このように同じ付与や付加を表わす機能動詞でも日中語で違いが見られる。

(3)a. 視聴者に誤解を与える。

b. ^{??}给予观众听众误解。

(4)a. 通行人に暴行を加える。

b. ^{??}对行人加以暴行。

また、先の例(1a)と(2a)の場合は「与える」と「加える」を置き換えてもさほど意味の違いは感じられないが、例(5)、(6)のように与格(ニ格)に説明を受ける相手(「学生」)が来る場合は「与える」が使われやすく、説明の対象となるモノ(「この作品」)が来る場合は「加える」が使われやすいという違いが見られる。

(5)a. 彼女は学生に説明を与える。

b. ^{??}彼女は学生に説明を加える。

(6)a. ^{??}彼女はこの作品に説明を与える。

b. 彼女はこの作品に説明を加える。

同じように、中国語の“给予”と“加以”は先の例(1b)の“给予说明”と(2b)の“加以说明”の場合、置き換えてもさほど意味の違いは感じられないが、例(7)、(8)のように与格に“学生”が来る場合は“给予”のほうが自然で、“問題”が来る場合は“加以”のほうが自然である。(7b)と(8a)は非文ではないが、(7a)と(8b)と比べると自然さが落ちる。

(7)a. 她对学生给予说明。

b. [?]她对学生加以说明。

(8)a. [?]她对这个作品给予说明。

b. 她对问题加以说明。

また“支援”の場合は“加以”より“给予”の方が自然であり、“完善”の場合は“给予”より“加以”の方が自然であるという違いがある。

(9)a. 对灾区给予支援。

(被災地に支援を与える)

b. ?对灾区加以支援。

(被災地に支援を加える)

(10)a. ??对政策给予完善。

(政策に改善を与える)

b. 对政策加以完善。

(政策に改善を加える)

以上のように同じ付与や付加を表わす機能動詞でも、「与える」、「加える」、「给予」、「加以」の4つは、とりうる対格や与格に違いがある。本稿ではこの違いについて、コーパスを利用して考察を進めていく。

2. コーパス調査

機能動詞を考察するには、機能動詞と結びつく名詞の特徴をみる必要がある。そこで大量の名詞を抽出するためにコーパス調査を行う。詳細は下記の通りである。

2.1 日本語の「与える」と「加える」

本稿では、日本語の「与える」、「加える」と結びつく名詞については中日新聞・東京新聞記事データベース(<http://www.cnc.ne.jp/ip/>、図 1)を利用して検索する。検索手順は以下の通りである。

- ①名古屋大学図書館のホームページから中日新聞・東京新聞記事データベースにアクセスする。
- ②中日新聞と東京新聞では、記事の重複があるため、検索対象を「東京新聞」に限定する。
- ③マス形の「を与え」と「を加え」をそれぞれ検索欄に入れ検索する。今回の場合、下一

段活用の動詞であるため、マス形を入れるとすべての活用形が検索できる。

- ④期間を「全期間」に指定する。中日新聞・東京新聞記事データベースは毎日更新されるデータベースである。本稿では1997年4月1日～2011年11月10日の記事を対象に調査した。(2011年11月11日実施)
- ⑤検索結果画面の上から最初の500例を抽出し、「を与え」、「を加え」に前接する名詞の出現数順に並べる。(「を与え」は全40,006件、「を加え」は全20,614件出現した。)

図1 東京新聞記事データベース検索結果画面



検索手順の⑤で出た「与える」と結びつく名詞のうち、出現数3以上のものを示すと、次の表1のようになる。

表1 「与える」と結び付く名詞(出現数3以上の名詞)

	名詞	出現数		名詞	出現数		名詞	出現数
1	影響	139	//	損害	6	25	稲わら	3
2	勇気	21	14	誤解	5	//	インパクト	3
3	希望	14	//	刺激	5	//	害	3
4	打撃	13	16	ヒント	5	//	チャンス	3
5	被害	10	//	感動	5	//	ハーモニー	3
6	衝撃	9	//	四球	5	//	餌	3
//	夢	9	//	食事	5	//	感銘	3
8	機会	8	//	不安	5	//	苦痛	3
//	力	8	21	ダメージ	4	//	権限	3
10	お墨付き	7	//	脅威	4	//	示唆	3
//	印象	7	//	元気	4	//	評価	3
//	喜び	7	//	時間	4	//	利益	3

表1を見ると、「与える」と結びつく名詞は、全体(500例)の4分の1以上を「影響」が占め、次いで「勇気」、「希望」、「打撃」、「被害」の順になることが分かる。名詞の性質から見ると、「影響」、「誤解」、「評価」といった動名詞³、「打撃」や「衝撃」のような動作性名詞⁴と結びつくほかに、「勇気」や「夢」、「機会」などの抽象名詞とも、「食事」、「餌」のような具象名詞とも結びつく。また「お墨付きを与える」のような慣用的な表現もある。「与える」は「食事を与える」や、「勇気を与える」などのように付与を表わす一般動詞として使われるだけでなく、「影響を与える」や「打撃を与える」のように、「動名詞/動作性名詞+与える」の形で使われる場合、文法的機能を果たす機能動詞としても使われることが分かる。

動名詞や動作性名詞のうち、「影響」、「誤解」、「刺激」のように「する」を伴い他動詞として使われるものがあるが、「打撃」、「衝撃」のように「する」を伴って動詞化できないものや、「感動」、「感銘」のように「する」を伴い自動詞として使われるものもある。しかし、「与える」と

³ 影山(1993)の定義によると、動名詞とは「する」を伴って動詞化できる表現のことである。

⁴ 「打撃」、「衝撃」のような名詞は、「する」を伴って動詞化できないが、動作性が強く感じられる名詞で、本稿では、動作性名詞と呼ぶことにする。

結びつく、これらの名詞はすべて対格をとることができるようになり、この点において「与える」は後続する名詞に他動性を付与する機能動詞であると考えられる。

次に検索手順の⑤で出た「加える」と結びつく名詞のうち、出現数 3 以上のものを示すと、次の表 2 のようになる。

表 2 「加える」と結びつく名詞(出現数 3 以上の名詞)

	名詞	出現数		名詞	出現数		名詞	出現数
1	暴行	60	7	危害	5	〃	解釈	3
2	手	12	〃	体罰	5	〃	解説	3
3	税	8	9	みそ	3	〃	魅力	3
4	改良	7	〃	スパイス	3	〃	映像	3
〃	熱	7	〃	塩	3	〃	機能	3
6	変更	6	〃	砂糖	3			

表 2 を見ると、「加える」と結びつく名詞は 1 位に「暴行」が来て、全体(500 例)の 8 分の 1 強を占めており、次いで「手」、「税」、「改良」、「熱」の順になることが分かる。「加える」は「暴行」、「改良」、「変更」等の動名詞、「体罰」のような動作性名詞と結びつくほかに、「みそ」や「塩」、「砂糖」などの具象名詞とも、「税」や、「熱」、「危害」、「魅力」のような抽象名詞とも結びつく。また「手を加える」のような慣用的な表現もある。「加える」は「与える」と同じように「みそを加える」や、「熱を加える」などのように付加を表わす一般動詞として使われるだけでなく、「暴行を加える」、「改良を加える」のように、「動名詞／動作性名詞＋加える」の形で使われる場合、文法的機能を果たす機能動詞としても使われる。

動名詞や動作性名詞のうち、上位に来る「暴行」、「改良」、「変更」、「体罰」等は、対象対象に働きかけて何らかの変化を引き起こさせることを含意している。「加える」はこういうタイプの動名詞と結びつきやすい。

また、「解釈する」、「解説する」は対象の変化を含意しないが、例(11)のように「解説(解釈)を加える」という形で使われると、元の文章や表現に新たな文章や表現を付加することとなり、対象の変化を含意することとなる。

(11) 「種子島物語」。かつて島を統治してきた種子島家の「種子島家譜(かぶ)」の読み下し文(和訳)に解説を加え、分かりやすい読み物に仕立て上げた。

(東京新聞 2011年10月08日)

2.2 中国語の“给予”と“加以”

中国語の“给予”、“加以”と結び付く名詞は北京大学中国言語学研究中心提供の CCL オンラインコーパス (http://ccl.pku.edu.cn:8080/ccl_corpus/index.jsp?dir=xiandai、図 2) を利用して検索する。検索手順は以下の通りである。

- ① CCL オンラインコーパスにアクセスする。
- ② 検索欄で“现代汉语”(現代漢語)を選ぶ。
- ③ 検索欄に“给予”、“加以”を入れて検索する。
- ④ 検索語“给予”、“加以”の左右にそれぞれ 30 字表示するように設定する。
- ⑤ 検索結果画面の上から最初の 500 例を抽出し、“给予”、“加以”に前接する名詞の出現数順に並べる。(“给予”は全 22,007 件、“加以”は全 15,854 件出現した。)

図 2 CCL オンラインコーパス検索画面



検索手順の⑤で出た“给予”と結びつく名詞のうち、出現数 3 以上のものを示すと、次の表 3 のようになる。

表 3 “给予”と結びつく名詞(出現数 3 以上の名詞)

	名詞	出現数		名詞	出現数
1	支持 (「支持」) ⁵	89	17	关注 (「注目、関心」)	9
2	合作 (「協力」)	39	18	身份 (「身分」)	8
3	评价 (「評価」)	31	19	警告 (「警告」)	7
4	补偿 (「補償」)	25	〃	安排 (「手配、振り当てる」)	7
5	肯定 (「肯定」)	19	21	保护 (「保護」)	6
〃	处分 (「処分、処罰」)	19	〃	支援 (「支援」)	6
〃	待遇 (「待遇」)	19	23	补助 (「補助」)	5
8	扶持 (「扶助」)	15	〃	救助 (「救助」)	5
9	照顾 (「関心、配慮」)	14	25	赔偿 (「賠償」)	4
10	补贴 (「補助」)	13	〃	扶助 (「扶助」)	4
11	处罚 (「処罰」)	12	27	赞扬 (「称赞」)	3
12	帮助 (「援助」)	11	〃	鼓舞 (「鼓舞」)	3
13	重视 (「重視」)	10	〃	回报 (「報いる」)	3
〃	援助 (「援助」)	10	〃	机会 (「機会」)	3
〃	奖励 (「奨励」)	10	〃	回应 (「返答、返事」)	3
〃	优惠 (「優遇」)	10			

表 3 を見ると、“给予”と結びつく名詞は、全体(500 例)の 5 分の 1 以上を“支持”が占め、次いで“合作”、“评价”、“补偿”、“肯定”の順になることが分かる。出現数 3 以上の名詞は全部で 31 語あり、このうち、抽象名詞の“待遇”、“优惠”、“身份”、“机会”という 4 語を除き、残りの 27 語はすべて動名詞で、例(9a)のように機能動詞“给予”の対象となるだけでなく、例(9b)のように機能動詞ぬきで単独の動詞としても使われる⁶。

⁵ 中国語に対応する日本語訳は『中日大辞典 増訂第二版』を参照した上で訳したものである。

⁶ この点で、日本語の動名詞は「する」をつけないと単独の動詞として使えないのと異なっている。

(12)a. 对财政确有困难的地区，中央财政给予支持。 (CCL)

(財政難の地区に対して、中央財政は支持を与える。)

b. 中央财政支持财政确有困难的地区。

(中央財政は財政難の地区を支持する。)

また、日本語の「与える」と比べると、中国語の“给予”は動名詞との結びつきが圧倒的に多く、対格にくる名詞の制約があり、例(10a, b, c)に示すように、動名詞、抽象名詞、具象名詞の順に自然さが落ちている。“给予”は動名詞や一部の抽象名詞と結びつきやすく、具象名詞とは結びつきにくいことから、機能動詞の性質がより強いと言えよう。

(13)a. 给予支持/评价 (支持/評価を与える)

b. 给予机会/²梦想 (機会/夢を与える)

c. 给予^{??}食物/^{??}书/^{??}食饵 (食事/本/えさを与える)

さらに、表3において“给予”と結びつく動名詞の27語の内訳を見ると、“支持”(「支持」)、“合作”(「協力」)、“补偿”(「補償」)、“肯定”(「肯定」)のように相手に利益をもたらすことを表わす表現が20語、“处分”(「処分」)、“警告”(「警告」)、“处罚”(「処罰」)のように相手に不利益をもたらすことを表わす表現が3語、“评价”(「評価」)、“关注”(「注目」)、“安排”(「手配」)、“回应”(「返答」)のように利益・不利益の点で中立的表現が4語あることがわかる。また中立的表現の4語でも、例(14a, b, c, d)のように“高度”、“特别”、“特殊”、“积极”のようにメリットをもたらすことを含意する修飾成分が来ることが多い。以上のことから、“给予”と結びつく動名詞は対象へ利益・不利益をもたらすことを表わすことが分かる。

例(14)a. 对员工给予高度评价。

(職員に高い評価を与える。)

b. 对中国给予特别关注。

(中国に特別な注目を与える。)

c. 对西藏的发展给予特殊安排。

(チベットの発展に特殊な配慮を与える。)

d. 对企业的要求给予积极的回应。

(企業の要求に積極的な返事を与える。)

次に検索手順の⑤で出た“加以”と結びつく名詞のうち、出現数 3 以上のものを示すと、次の表 4 のようになる。

表 4 “加以”と結びつく名詞(出現数 3 以上の名詞)

	名詞	出現数		名詞	出現数
1	解決 (「解決」)	70	〃	分析 (「分析」)	5
2	控制 (「制御」)	16	〃	照料 (「面倒を見る」)	5
3	完善 (「改善」)	13	〃	引导 (「導く」)	5
4	改进 (「改良」)	11	〃	拒绝 (「拒絶」)	5
5	保护 (「保護」)	9	〃	运用 (「運用」)	5
〃	利用 (「利用」)	9	〃	纠正 (「是正」)	5
〃	处理 (「処理」)	9	30	崇拜 (「崇拜」)	4
8	限制 (「制限」)	8	〃	研究 (「研究」)	4
〃	确定 (「確定」)	8	〃	创造 (「創造」)	4
10	发展 (「発展」)	7	〃	调节 (「調節」)	4
〃	修改 (「改正」)	7	〃	应用 (「応用」)	4
〃	规范 (「規範」)	7	〃	抵制 (「阻止」)	4
13	说明 (「説明」)	6	〃	核实 (「確かめる」)	4
〃	整理 (「整理」)	6	〃	确认 (「確認」)	4
〃	制止 (「制止」)	6	38	区别 (「区別」)	3
16	评论 (「評論」)	5	〃	比较 (「比較」)	3
〃	落实 (「実行」)	5	〃	提高 (「高める」)	3
〃	讨论 (「討論」)	5	〃	变化 (「変化」)	3
〃	扶持 (「扶助」)	5	〃	介绍 (「紹介」)	3
〃	实施 (「実施」)	5	〃	谴责 (「非難」)	3
〃	重视 (「重視」)	5	〃	区分 (「区分」)	3
〃	规定 (「規定」)	5	〃	维护 (「守る」)	3
〃	改造 (「改造」)	5			

表4を見ると、“加以”と結びつく名詞は、全体(500例)の7分の1以上を“解決”が占め、次いで“控制”、“完善”、“改进”、“保护”の順になることが分かる。この45語のうち、“変化”を除き、例(15a、b、c)のようにすべて対格に目的語をとる他動詞として使われる動名詞である。一方、“変化”は例(16)のように対格に目的語をとることができず、自動詞として使われる動名詞である。

- | | | |
|-------------------------|----------------|-------|
| (15)a. <u>解決</u> 問題 | (問題を解決する) | |
| b. <u>控制</u> 局面 | (局面を制御する) | |
| c. <u>完善</u> 内容 | (内容を改善する) | |
| (16) 中国每天都在 <u>变化</u> 。 | (中国は毎日変わっている。) | (CCL) |

表1、2、3、4の分析をまとめると、日本語の「与える」、「加える」と中国語の“给予”、“加以”の大きな違いの一つは、日本語の「与える」、「加える」は「餌を与える」、「砂糖を加える」のような具象名詞とも結び付くため、語彙的役割を担う一般動詞と文法的機能を果たす機能動詞の両方を兼ねていることが分かる。一方、中国語の“给予”は“待遇”、“身份”のような抽象名詞とも結びつくが、主に動名詞と結びつき、機能動詞として使われる場合が多く、また“加以”は動名詞としか結びつかないため、基本的に機能動詞としてのみ使われる。中国語では一般的な具象名詞を対格にとる場合、“给食饵”(「餌を与える」)、“加糖”(「砂糖を加える」)のように、“给”や“加”が使われる。この点で付与・付加を表す中国語は、日本語と違ってモノ(具象名詞)と結びつく動詞と、コトと結びつく動詞とは使い分けられていることが分かる。

3. 機能動詞と結びつく動名詞や動作性名詞

この章では、対格や与格にくる動名詞や動作性名詞に焦点を当てて、機能動詞としての日本語の「与える」、「加える」と中国語の“给予”、“加以”の異同をそれぞれ見る。

3.1 「与える」と“给予”の異同

次に“给予”と結びつきやすい動名詞や動作性名詞と「与える」との容認性、および「与える」と結びつきやすい動名詞や動作性名詞と“给予”との容認性を表5、6に示す。表5、6に

において「○」は容認しやすいこと、「×」は容認しにくいこと、「？」は容認性が低いことを表わす。

表5 「与える」と“给予”の対格名詞との容認性(数字は出現数)

対格名詞	支持 (支持)	评价 (評価)	补偿 (補償)	警告 (警告)	处分 (処分)	合作 (協力)	安排 (手配)
与える	○ (50)	○ (236)	○ (5)	○ (45)	○ (3)	× (0)	× (0)

表6 “给予”と「与える」の対格名詞との容認性(数字は出現数)

対格名詞	影響 (影响)	打撃 (打击)	衝撃 (冲击)	感動 (感动)	感銘 (感动)
给予	○ (50) ⁷	○ (85)	○ (9)	× (0)	× (0)

前述のように、“给予”と結びつく動名詞は対象へ利益・不利益をもたらすことを表わす。これらの動名詞と「与える」との容認性を東京新聞データベース(先の500例の中ではなく、1997年4月1日～2011年11月10日の14年分の新聞データ規模)で調べたところ、「支持を与え」50、「評価を与え」236、「補償を与え」5、「警告を与え」45、「処分を与え」3という検索結果を得た。つまり例(17a, b)のように、「与える」は対象へ利益・不利益をもたらすことを表わす動名詞と結びつき、利益・不利益を付与することを含意する。

- (17) a. 得票率などを見る限り、有限者は自民党に対してこれまで以上の支持を与えたわけではない。
(東京新聞 2010年07月13日)
- b. ファイル共用ソフトの利用者のモラルのなさに腹が立ち、警告を与えたかった。
(東京新聞 2011年07月21日)

一方、“合作”(「協力」)と“安排”(「手配」)は「与える」と結びつきにくい。その理由はこの

⁷ “给予”と動名詞との出現数はCCLオンラインコーパス(4.77億字規模)で検索したものである。以下、“加”も同様。

二つの動名詞の動詞としての文法的振舞いに関わると考えられる。例(18a)の場合、「協力」の与格に「協力」の内容である「事業」や「募金」が来ており、利益・不利益の受け手の存在は背景化されている。同様に例(18b)の場合、「手配」の対格に「手配」の内容である「車」や「宿泊先」が来ており、「誰かのために」という利益・不利益の受け手は「手配」の必須項ではない。

- (18)a. 事業/募金に協力する。
 b. 車/宿泊先を手配する。

表 6 に示されているように、「与える」と結びつく動名詞のうち、「影響」/“影响”、「打撃」/“打击”、「評価」/“评价”、「示唆」/“启发”のような他動性をそなえる動名詞や動作性名詞は中国語の“给予”と結びつきやすいが、「感動」/“感动”、「感銘」/“铭感、感动”などの自動詞は中国語の“给予”とは結びつきにくい。

総じて言えば、日本語の「与える」は動作性をそなえる名詞に他動性を付与して、その名詞で表される事態を相手に付与する働きを果たしているのに対して、中国語の“给予”は一方が他方に何らかの利益や損害をもたらすことに重点が置かれている点で違いがあると考えられる。

3.2 「加える」と“加以”の異同

次に“加以”と結びつきやすい動名詞や動作性名詞と「加える」との容認性、および「加える」と結びつきやすい動名詞や動作性名詞と“给予”との容認性を表 7、8 に示す。

表 7 「加える」と“加以”の対格名詞との容認性(数字は出現数)

対格名詞	解決 (解決)	控制 (制御)	利用 (利用)	改善 (改善)	改进 (改良)	限制 (制限)
加える	× (0)	× (0)	× (0)	○ (11)	○ (185)	○ (90)

表8 “加以”と「加える」の対格名詞との容認性(数字は出現数)

対格名詞	暴行 (暴行)	改良 (改良)	変更 (変更)	体罰 (体罰)
“加以”	× (0)	○ (18)	○ (12)	× (0)

表7、8 に示されるように、「改良」/“改良、改进”、「変更」/“变更”、「改善」/“完善”、「制限」/“限制”のような名詞は「加える」にも“加以”にも結び付きやすい。一方、“解決”/「解決」、「控制」/「制御」、「利用」/「利用」は中国語の“加以”とは結びつきやすいが、日本語の「加える」とは結びつきにくい。「改良」、「改善」、「変更」、「変化」は対象に何らかの変化を引き起こさせる点で同じグループに属しており、「対象指向性の動名詞」⁸であると考えられる。また、「解決」や「制御」、「利用」等は動作主の行為に焦点を当てているため、「動作主指向性の動名詞」であると考えられる。以上のように、日本語の「加える」と結びつく名詞は「対象指向性の動名詞」が来やすく、中国語の“加以”と結びつく名詞は「動作主指向性の動名詞」と「対象指向性の動名詞」の両方が来るという違いがある。また“暴行”と“体罰”は動名詞ではないため、“加以”と結びつきにくいと考えられる。

3.3 「与える」と「加える」の異同

次に日本語の「与える」および「加える」と結びつきやすい動名詞や動作性名詞の違いについて見る。表9は「与える」と結びつきやすい名詞、表10は「加える」と結びつきやすい名詞について、それぞれ「加える」、「与える」とも結びつくかどうか比較したものである。

表9 「加える」と「与える」の対格名詞との容認性(数字は出現数)

対格名詞	影響	打撃	衝撃	感動	感銘
加える	× (0)	○ (28)	○ (7)	× (0)	× (0)

⁸ 杉村(2011)は、他動詞を対象の変化より動作主の行為に焦点の当たる「動作主指向性の他動詞」と対象への働きかけに焦点の当たる「対象指向性の他動詞」に分けている。本稿では、この考えに従い、動名詞を「動作主指向性の動名詞」と「対象指向性の動名詞」に分ける。

表 10 「与える」と「加える」の対格名詞との容認性(数字は出現数)

対格名詞	暴行	改良	変更	体罰	解釈
与える	× (0)	× (0)	× (0)	× (0)	○ (11)

表 9、10 に示すように、「影響」は「与える」と結びつきやすいが、「加える」とは結びつかない。「暴行」は「加える」と結びつきやすいが、「与える」とは結びつかない。また、例(19a、b、c)のように「与える」の与格には「各国」や「経済」、「議論」のように広い意味でのヒトや抽象的なモノやコトガラが多く来るのに対し、例(20a、b)のように「加える」の与格には「カレーソース」や「羽根」のように具象物のモノの来ることが多い。

- (19)a. 各国に重大な影響を与える。(東京新聞 2011年11月03日)
- b. 過度な円高は震災復興が本格化した日本経済に悪影響を与える。
(東京新聞 2011年11月04日)
- c. 自動車関連の税見直しは政府税制調査会が検討を進めている二〇十二年度税制改正の焦点の一つで、今後の議論に影響を与えるのは必至だ。
(東京新聞 2011年11月02日)
- (20)a. 日本のカレーは、英国風カレー・ソースに改良を加えたもので、インドからの直輸入ではありません。(東京新聞 2011年06月06日)
- b. 発売時から、回転する羽根などにさまざまな改良を加えてきた。
(東京新聞 2011年07月24日)

次の例(21a)、(22a)、(23a)、(24a)は東京新聞コーパスで検索した実例で、「衝撃を与える」と「衝撃を加える」、「解釈を与える」と「解釈を加える」のいずれとも許容できることが分かる。例(21b)、(22b)、(23b)、(24b)はそれぞれの作例である。

例(21a、b)では、与格に「裁判関係者」が来る場合、「衝撃を与える」は言えるが、「衝撃を加える」は言いにくい。また(22a、b)では、与格に「電池パック」が来る場合、「衝撃を加える」のほうが自然であるが、「衝撃を与える」と「衝撃を加える」と両方言える。一方、例(23a、b)では、与格に「観客」が来る場合、「解釈を与える」は言えるが、「解釈を加える」は言いにくい。また(24a、b)では、与格に「テレビアニメ」が来る場合、「解釈を加える」は言えるが、

「解釈を与える」とは言いにくい。

以上のことから、「与える」はその与格に「裁判関係者」や「観客」のような広い意味でのヒトをとりやすいが、「電池パック」のような具象物のものをとることも可能である。それに対し、「加える」はその与格に具象物のモノをとりやすく、広い意味でのヒトをとりにくい。

また、(24b)は「与える」の与格にものをとれない例である。とれない理由は「与える」と「加える」の基本的な意味の違いに大きく関わっている。(22a)の「電池パックに強い衝撃を加える」の「加える」は、「電池パック」というものに「衝撃」という動作を付加するという意味で、(22b)の「電池パックに強い衝撃を与える」の「与える」は、「電池パック」というものに「衝撃」という動作を付与するという意味である。この場合、「付与」を表す「与える」と「付加」を表す「加える」は共通している。一方、(24a)の「テレビアニメに新たな解釈を加える」とは、元のものにさらに何か新しいモノかコトガラを付け加えるという意味で、「与える」とは置き換えられない。

- (21)a. 二審東京高裁も支持し「裁判制度を無視し、誠実に職務を行った弁護士を殺害、裁判関係者に衝撃を与えた」とした。

(東京新聞 2011年11月23日)

- b. *裁判関係者に衝撃を加えた。(作例)

- (22)a. PHS大手のウィルコムは十三日、PHS端末二機種の電池パックに強い衝撃を加えると、発熱したり膨らんだりする不良品が一部にあり、電池約十三万四千個をすべて回収、無償交換すると発表した。

(東京新聞 2007年06月14日)

- b. 電池パックに強い衝撃を与える。(作例)

- (23)a. 言葉が先立てば、観客に特定の解釈を与えてしまい、ダンスの可能性を狭めるものになりかねない。

(東京新聞 2010年11月29日)

- b. *観客に特定の解釈を加える。(作例)

- (24)a. 新作アニメ「宇宙戦艦ヤマト2199」は、初代のテレビアニメをもとに、新たな解釈を加えて作り直される。

(東京新聞 2011年11月19日)

- b. ??初代のテレビアニメに新たな解釈を与える。(作例)

3.4 “给予” と “加以” の異同

次に中国語の“给予”および“加以”と結びつきやすい動名詞や動作性名詞の違いについて見る。表11は“给予”と結びつきやすい名詞、表12は“加以”と結びつきやすい名詞について、それぞれ“加以”、“给予”とも結びつくかどうか比較したものである。

表11 “加以”と“给予”の対格名詞との容認性

対格名詞	支持	评价	补偿	支援
加以	○ (35)	○ (27)	○ (13)	○ (2)

表12 “给予”と“加以”の対格名詞との容認性

対格名詞	解决	控制	改进	说明
给予	○ (82)	? (1)	× (0)	○ (6)

表11、12に示されるように、“加以”は“给予”の対格名詞と全部結びつくことができる。一方、“给予”は“控制”、“改进”のような利益・不利益の受け手が想定しにくい動名詞とは結びつきにくい。例(25)はCCLに出てくるその唯一の例である。

(25) 对国外名牌产品企业在中国投资设分厂给予适当控制。 (CCL)

(外国ブランド製品企業が中国で投資したり子会社を設立したりすることに対し、適切に制御を与える)

また、“加以”と“给予”と両方結びつくが、その許容度の差がある。ここで“说明”と“支援”を例にCCL オンラインコーパスで検索したところ、“给予说明”6、“给予支援”36、“加以说明”259、“加以支援”2という検索結果が出た。この結果に示されるように、“给予”は“支援”のようにヒトを対格にとる動名詞と結びつきやすく、“加以”は“说明”のようにモノを対格にとる動名詞と結びつきやすいことが分かる。ここで言うヒトは広い意味でのヒトで、例(24a、b、c)のように、人、国家・地区、物事も含まれる。例えば例(24c)の場合、“中国的发展”は物事であるが、背後に“中国”という利益・不利益の受け手が存在するため、広い意味でのヒトとしてとらえることができる。一方、“加以”の対格に来るモノは広い意味でのモノで、例

(25a)の“资料”のような具象物もあれば、(25b、c)の“内容”や“局面”のような抽象物もあり、広い意味でのモノ名詞が来ることが分かる。

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| (26)a. 对先进教师 <u>给予</u> 表扬。 | (先進的教員に賞賛を与える。) |
| b. 对灾区 <u>给予</u> 援助。 | (被災地に援助を与える) |
| c. 对中国的发展 <u>给予</u> 特别关注。 | (中国の発展に特別な関心を与える) |
| (27)a. 对资料 <u>加以</u> 整理。 | (資料に整理を加える) |
| b. 对内容 <u>加以</u> 完善。 | (内容に改善を加える) |
| c. 对局面 <u>加以</u> 控制。 | (局面に制御を加える) |

4. まとめ

以上、本稿では日中語の付与・付加を表わす機能動詞の「与える」、「加える」、「给予」、「加以」とその対格にくる名詞との結合について考察した。その結果は次のようにまとめられる。

- ①「与える」は「影響」と最も結びつきやすい。また「打撃」や「衝撃」のような動作性名詞および「感動」、「感銘」のような自動詞とも結びつき、それに他動性を付与する。
- ②「加える」は「暴行」と最も結びつきやすい。また「改良」、「変更」のような「対象指向性の動名詞」と結びつきやすく、対象物の変化を含意することが多い。
- ③“给予”は“支持”、“评价”、“补偿”のような利益をもたらすことを表わす名詞と“警告”、“处分”のような不利益をもたらすことを表わす名詞と結びつきやすく、「広い意味でのヒトに何かを与える」という意味を表す。
- ④“加以”はこの4語の中で一番幅広く動名詞と結びつき、与格に広い意味でのモノが来ることが多い。

本稿は限られた例文に基づいて考察したもので、今後精緻な分析を行うため、さらに大量の例文を見る必要がある。また機能動詞と動名詞との結合の構文的振舞いにも着目し、考察を深めていきたい。

[参考文献]

- 愛知大学中日大辞典編纂処 (1986) 『中日大辞典 増訂第二版』 大修館書店
- 奥田 靖雄 (1983) 「を格の名詞と動詞とのくみあわせ」『日本語文法・連語論(資料編)』
むぎ書房
- 影山 太郎 (1993) 『文法と語形成』 ひつじ書房
- 杉村 泰 (2011) 「日本語の複合動詞「～慣れる」「～飽きる」と中国語の複合動詞“～惯”、
“～膩”の V1+V2 結合について」『日語学習と研究』2011 年第 5 期 对外經濟貿易大学
- 村木 新次郎 (1983) 「機能動詞の記述—日本語とドイツ語を例として—」『国文学解釈と
鑑賞』48
- (1991) 『日本語動詞の諸相』 ひつじ書房
- 范 崇寅 (1994) 《日语中的机能动词》《日语学习与研究》第 3 期
- (2004) 《日语机能动词与汉语形式动词对比研究》《天津外国语学院学报》
第 4 期
- 尹 世超 (1980) 《谈“进行”类动词谓语句》《哈尔滨师专学报》第 1 期
- 朱 德熙 (1985) 《现代书面汉语里的虚化动词和名词》《北京大学学报(哲学社会科学
版)》1985 年第 5 期 PP. 86—97

[例文出典]

日本語の例文: 中日新聞・東京新聞記事データベース

<http://www.cnc.ne.jp/ip/>

中国語の例文: CCL オンラインコーパス(北京大学中国言語学研究中心提供)

http://ccl.pku.edu.cn:8080/ccl_corpus/index.jsp?dir=xiandai

[付記]

本稿は2011 年8月8日 に名古屋大学で行われた「第9回日本語教育研究集会」で発表した内容をもとに執筆したものである。

朱 薇娜